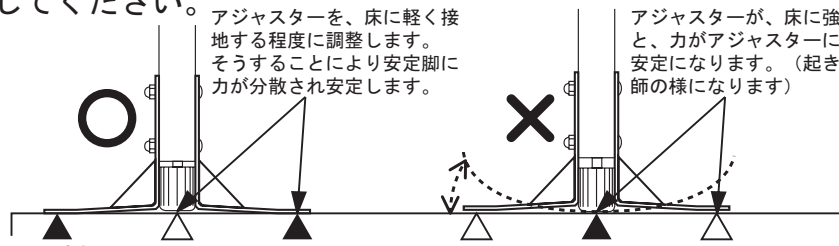
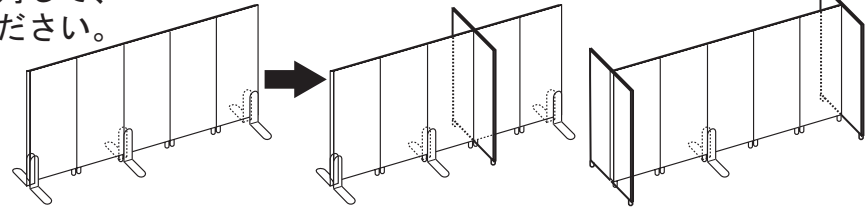
## パネルの揺れが気になる場合には

1，安定脚を取り付けているパネルの
アジャスターを再度調整してください。

アジャスターを、床に軽く接地する程度に調整します。そうすることにより安定脚に力が分散され安定します。

アジャスターが、床に強く接地すると、力がアジャスターに集中し、不安定になります。（起きあがり小法師の様になります）

2，直線で連結しているパネルに対して、
直交するパネルを追加してください。

# フロアパネル取扱説明書

Garage

20080304

この度は当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき末永くご愛用いただきますよう、お願い申しあげます。
お読みになった後は、大切に保管してください。

**警告**

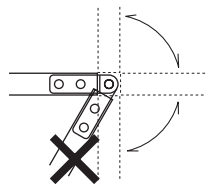
- ●パネルに寄り掛かりますと、パネルが倒れ、ケガをする恐れがあります。
- ●固定パネルを組立てたまま移動しないでください、パネルが倒れ、ケガをする恐れがあります。
- ●傾斜や凸凹のある床で使用しますと、パネルがズレたり倒れてケガをする恐れがあります。
- ●不要になった場合など、焼却処理などをしないでください。有毒ガスなどが発生する恐れがあります。

**注意**

- ●風の強い場所に設置しないでください。パネルが転倒してケガをすることがあります。
- ●指定された部品以外を使用しないでください。製品が破損したり、物がが落下してケガをすることがあります。
- ●暖房器具などに近づけて設置しないでください。火傷、物の変形、火災になることがあります。
- ●ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。本体が壊れてケガをすることがあります。
- ●製品を解体、分解、改造しないでください。製品が故障したり、ケガをすることがあります。
- ●パネルにぶら下がらないでください。パネルが転倒してケガをすることがあります。
- ●連結穴、すき間などに指を入れないでください。ケガをすることがあります。
- ●遊具代わりに使用しないでください。転倒してケガをすることがあります。
- ●異常を発見したまま使用しないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- ●用途以外では使用しないでください。けがをすることがあります。

### 一般的ご注意

●直射日光や熱、冷暖房器具の強風を直接当てないでください。ゆがみや変形の原因となります。

●フリー角ジョイントで連結の場合パネルは鋭角に曲がりません。

### お手入れ方法

ボルトやネジのゆるみが発生した場合は、増し締めを行ってください。
汚れを落とす場合は、から拭きするか、固く絞った布等で拭いてください。
汚れのひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後固く絞った布等で拭いて洗剤を完全に取り除いてください。
※シンナー、アルコール類は使用しないでください。

### お問い合せ先

製品に関するご質問は、ご購入店、または下記のお問い合せセンターにお寄せください。
ガラージお客様センター　Tel.0120-331-753
09:00〜18:00（日曜、祝日、年末年始を除く）

### 品質表示

■外形寸法

| | |
|---|---|
| GP-0410/0410L | W400×D30×H1010mm |
| GP-0415/0415L | W400×D30×H1460mm |
| GP-0610 | W600×D30×H1010mm |
| GP-0615 | W600×D30×H1460mm |
| GP-0710 | W700×D30×H1010mm |
| GP-0715 | W700×D30×H1460mm |
| GP-0810/0810L | W800×D30×H1010mm |
| GP-0815/0815L | W800×D30×H1460mm |

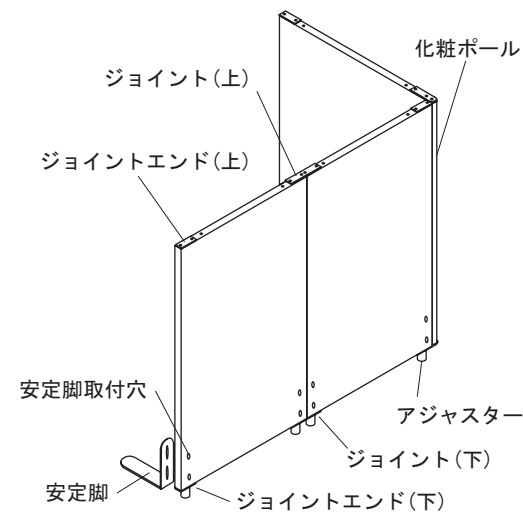
■素材：繊維板（パーチクルボード、ＭＤＦ）
採光部：ポリカーボネート

■取扱上の注意
直射日光又は熱を避けてください。
据え付けに際し、湿気の多いところを避けアジャスターの調整でパネルを水平に設置してください。

プラス株式会社　ガラージ事業部
東京都千代田区三番町6-14

# フロアパネル組立説明書

Garage

20051128

組立の前に必ずお読みください。不適切な組立は事故につながる恐れがあります。
必ず二人で組立てください。

- ●工具類の取り扱いには十分ご注意ください。
- ●組立の際はお子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- ●組立説明書に従って組み立ててください。
  組立手順を間違えると組立たない場合があります。
- ●組立の際、製品及び床などを傷つけないようご注意ください。

**注意**

- ●組立手順に従い、はめ込む部分は確実にはめ込んでください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをする恐れがあります。
- ●組立手順に従い、ネジなどで確実に止め、組立てください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをする恐れがあります。

## 部品一覧

| | GP-0410 | GP-0415 | GP-0610 | GP-0615 | GP-0710 | GP-0715 | GP-0810 | GP-0815 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル | W400 | W400 | W600 | W600 | W700 | W700 | W800 | W800 |
| キャップ | 10ケ | 12ケ | 10ケ | 12ケ | 10ケ | 12ケ | 10ケ | 12ケ |
| 木ダボ | ―― | 1ケ | ―― | 1ケ | ―― | 1ケ | ―― | 1ケ |

| | GP-0410L | GP-0415L |
|---|---|---|
| パネル | W400 | W400 |
| キャップ | 10ケ | 12ケ |
| 木ダボ | ―― | 1ケ |

### パネルを設置する前にご覧ください

●必ず設置場所で組立ててください。
・ジョイントしていく時は、必ず次のパネルの下ジョイントを、所定の位置に置いてからパネルを差し込んでください。

※各ジョイントの下ジョイントは、差し込み式になっており、パネルとは固定しません。
これは、お客様による組立、組み替えを、狭い場所でもできるように、配慮した設計によるものです。

| GP-0810L | GP-0815L |
|---|---|
| W800 | W800 |
| 10ケ | 12ケ |
| ―― | 1ケ |

# パネルを設置する際の御注意

●直線に設置する場合
・直線の連結（Eの幅）は総幅3600まで。
・パネル２枚につき１ヶの安定脚を
　取り付けてください。

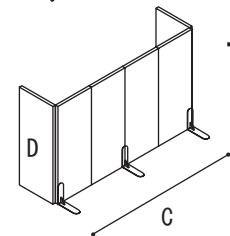
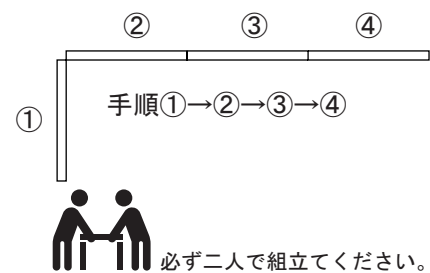
●コの字に設置する場合
・直線の連結（Cの幅）は総幅3600まで。
・Dには600mm以上のパネルを
　お使いください。
・パネル２枚につき１ヶの安定脚を
　取り付けてください。

D
C

●Ｌ字に設置する場合
・直線の連結（Aの幅）は総幅3600まで。
・Bの幅がAの幅の２分の１以上になる
　ようにしてください。
・パネル２枚につき１ヶの安定脚を
　取り付けてください。

# 手順

パネル連結の手順

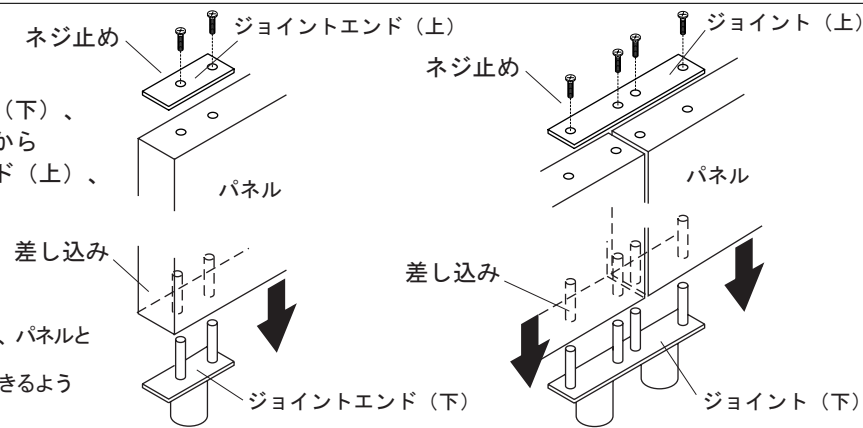
必ず二人で組立てください。

●１つのフリー角、Ｔ連結、十連結等の
　コーナー部分から、又は安定脚を取り付けた
　部分から組み立てて自立させ、パネルを
　接続延長させることで施工されます。
※組立後に移動するとジョイントが抜けたり
　曲がったりすることがあります。

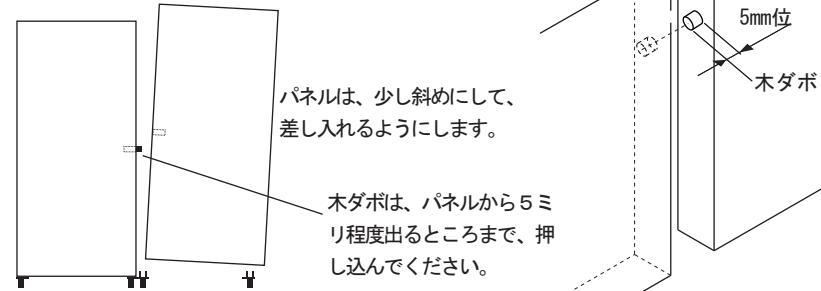
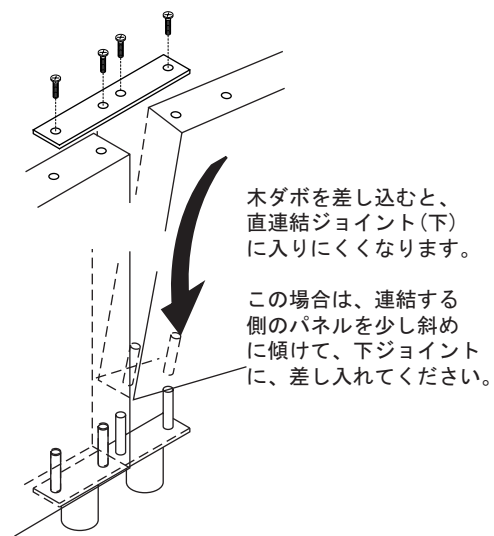
①

使用工具
用意する物

＋ドライバー
５円玉等のコイン、糸

# パネルのジョイントの概要

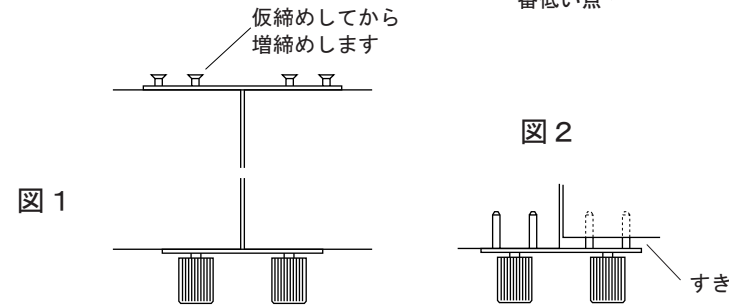
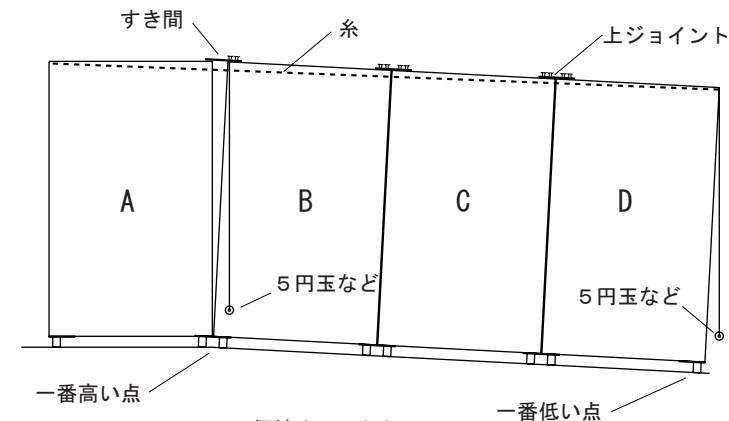
●ジョイントは上部品と下部品の
　２つで構成されています。
　連結の際は、まず下部品（ジョイントエンド（下）、
　ジョイント（下））を床に置き、パネルを端から
　差し込みます。次に上部品（ジョイントエンド（上）、
　ジョイント（上））をネジ止めし、パネルを
　しっかり固定してください。
＊パネルを差し込む時は両端を下部品に同時に
　差し込むようにしてください。
※各ジョイントの下ジョイントは、差し込み式になっており、パネルとは固定しません。
　これは、お客様による組立、組み替えを、狭い場所でもできるように、配慮した設計によるものです。

## 直連結の際の、木ダボの使用 (H=1000ﾀｲﾌﾟ には付いておりません)

●パネルの小口の中間部に、パネル本体の反りを
　矯正するための、ダボ穴があいています。
　直連結をする際に、木ダボを片側のパネルに
　差込み、連結する側の穴に木ダボを差し込みます。

木ダボを差し込むと、
直連結ジョイント(下)
に入りにくくなります。

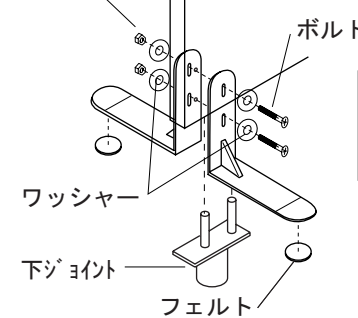
この場合は、連結する
側のパネルを少し斜め
に傾けて、下ジョイント
に、差し入れてください。

# パネルのレベル合わせの方法

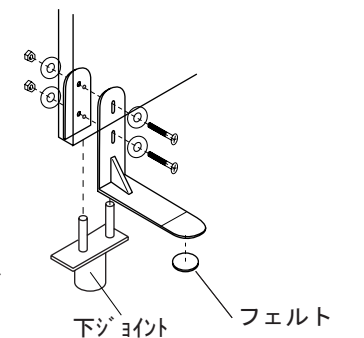
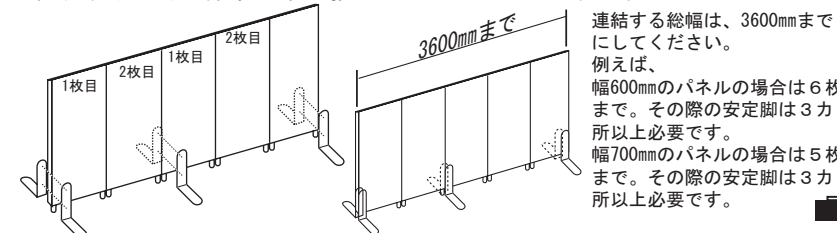
●上ジョイントのボルトは仮締めの状態で
　作業を行って下さい。

１、パネルの連結した両端の角に糸を張り、
　　各パネルの凸凹を確認してください。
２、最も高い位置にあるパネルAの
　　アジャスターを、最も低い状態にして
　　そのパネルの垂直を、５円玉などを糸
　　で吊して確認し、アジャスター調整
　　してください。
３、パネルAの隣のパネルＢのアジャスター
　　調整をします。
　　その際、図１のようにパネルの上部、
　　下部がパネルAと合うように調整します。
４、順番に隣り合うパネルを調整します。
５、最後に横に張った糸でパネルに凸凹が
　　ないか、垂直になっているかを確認して
　　から、上ジョイントのボルトを本締め
　　してください。
　※図２のようにパネルが下ジョイントに
　　すき間がなく載っていることを確認し
　　てください。

●アジャスターの調整の方法
　アジャスターは必ずパネルを上に上げる
　方向で調整してください。

●パネルの使用しない孔には付属のフリーキャップをはめ込んでください。

# パネルを自立させる場合　安定脚の使用

図のように、ボルトを仮締めしてから金具を下に
押し下げて、あらためてボルトを本締めしてください。

⚠注意
各安定脚には、必ずジョイント（アジャスター）を併用してください。
ボルトがゆるみ、パネルが倒れ、ケガをすることがあります。

ご注意ください
安定脚底部には、フェルトを貼ってください。また、フェルトを貼った場合でも、設置後にパネルを引きずると、本体の破損転倒、床の傷、カーペットへのシール剥がれによる汚れの原因になりますので、一度、ジョイントを外してから、パネルを持ち上げて移動させてください。

安定脚の取付に際し、以下の点をご確認ください。
１，アジャスターは全てのパネルに付いているでしょうか。（安定脚を取り付ける場合にも、エンドジョイント等のジョイントが必要です。）
２，アジャスターの調整は終わっているでしょうか。
３，安定脚は、連結しているパネル２枚につき、１ヶ以上ご用意されているでしょうか。
４，安定脚の先端部は床に接地しているでしょうか。

連結する総幅は、3600㎜まで
にしてください。
例えば、
幅600㎜のパネルの場合は６枚
まで。その際の安定脚は３カ
所以上必要です。
幅700㎜のパネルの場合は５枚
まで。その際の安定脚は３カ
所以上必要です。